

行政視察報告書

報告者 足立 義弘

令和5年7月19日 長崎県大村市

アーバンスポーツの安全対策について

大村市では大村ボートレース場内に、コミュニティパーク「グリーンおおむら」(令和4年11月完成)全体面積4千㎡、スケートボードパーク約1千㎡、ボルタリング施設床面積150㎡ウォール高さ5m幅約14m、パークセンター鉄骨造平屋建て等を併設した。

特にスケートボードの利用者は平日800人位、週末は1000~1500人と賑わっているとの事でした。

しかし、スケートボード夜間騒音対策はおさまらず、プラザおおむら付近の中央商店街でスケートボード利用者に直接指導を行ったとの事です。

又、市教育長名で市内の小中学校長宛に春休みの過ごし方について、「市内小中学校のアーケード内におけるスケートボードの禁止」との文章を配布し指導を行った。又、市内の高校にも同様の注意を促した。

5月27日(土)グリーンおおむらで、スケートボードのマナーやルールの周知・啓発を行うため、警察やグリーンおおむら利用者に参加してもらい、マナーアップキャンペーンを実施した。

そこで同所の利用者に対し、啓発用チラシとステッカーを作成、周知・啓発を行い、ポスターを作成し、公共施設や学校等に配布し、周知・啓発を行ったそうです。

本市でもスケートボードの利用は田ノ浦のTウェーブで既に楽しまれていますが、植田支所前のボストン公園でも、支所管内の自治会より若者の楽しめる場所に同公園のアーバン施設づくりも要望されていると聞いています。

本市でも近々祝祭の広場でアーバンスポーツを開催し、利用者の現状把握を計画していると聞いています。

アーバンスポーツ利用者の健全育成の為の環境整備と併せてマナー向上の為の施策も同時進行的に行なえる事を考えていきたいと思いました。